

<ニュースリリース>

2014年2月12日
米国研究製薬工業協会

PhRMA 在日執行委員会委員長交代を発表 ～ 新委員長にトニー・アルバレス氏(MSD株式会社 代表取締役社長)が就任～

本年初めに就任したゲイリー・ワイナー氏(アツヴィ合同会社社長 兼 CEO)の離日に伴い、
副委員長より、昇格

米国研究製薬工業協会(PhRMA: Pharmaceutical Research and Manufacturers of America)は、2014年2月12日付で、同協会の日本における最高意思決定組織である、在日執行委員会(JBEC: Japan-Based Executive Committee)の委員長に、MSD株式会社代表取締役社長のトニー・アルバレス氏(Tony Alvarez)が就任したことを発表しました。

同委員会委員長には、前任のアルフォンゾ・G・ズルエッタ氏(Alfonso G. Zulueta、前・日本イーライリリー株式会社 代表執行役社長)の任期満了に伴い、本年1月1日付で、アツヴィ合同会社社長兼 CEO のゲリー・エム・ワイナー氏(Gary M. Winer)が就任。また同日付で、アルバレス氏が副委員長に就任していましたが、ワイナー氏が近く同社の社長兼CEO職を離れ、離日することとなったため、副委員長のアルバレス氏が委員長に昇格しました。

アルバレス新委員長は、「日本の患者さんや医療従事者のために、新薬を速やかにお届けし、医療環境の改善に貢献することが PhRMA のミッションです。革新的な医薬品の開発・提供は、日本国民の健康寿命延伸や、医療及び生活の質の向上において重要な役割を果たします。また同時に、総医療費の節減や労働生産性向上にも寄与し、医療制度の拡充という面のみならず、経済成長の牽引役として、日本全体にも大きな経済的メリットをもたらします」と就任のコメントを述べています。

また加えて、「PhRMA は、医療分野におけるイノベーション促進を成長戦略の中核に据える日本政府の新政策を歓迎し、これを支援します。私たちは全てのステークホルダーとともに、医薬品の研究開発促進につながる積極的な政策の導入や、実際に施行されることを目指して邁進していきます」と抱負を語っています。

アルバレス氏は、20年以上に渡るアップジョン社とファルマシア社でのキャリアを経て、2005年に日本のシェリング・プラウ株式会社に入社し、2007年に同社の代表取締役ゼネラル・マネージャーに就任しました。同氏は2010年、万有製薬株式会社およびシェリング・プラウ株式会社の代表取締役社長に任命され、同年10月の両社統合によって誕生したMSD株式会社の代表取締役社長に就任しました。

● 米国研究製薬工業協会(PhRMA)

PhRMA は、米国で事業を行なっている主要な研究開発志向型製薬企業とバイオテクノロジー企業を代表する団体です。加盟企業は新薬の発見・開発を通じて、患者さんがより長く、より健全で活動的に暮らせるよう、先頭に立って新しい治療法を探求しています。加盟企業の新薬研究開発に対する 2012 年の投資額は約 485 億ドルで、これは加盟企業総売上高の 20.7%にあたります。また、米国における R&D 投資総額の 21%が製薬業界によるものです。

● 米国研究製薬工業協会(PhRMA)東京オフィス

PhRMA 東京オフィスは、米国の研究開発志向型製薬企業の日本法人で構成されており、画期的新薬が開発できる環境や患者さん中心の医療制度の確立に向けて 25 年以上に渡って活動を続けています。加盟企業は、アステラス・アムジェン・バイオフーマ株式会社、アツヴィ合同会社、MSD 株式会社、セルジーン株式会社、日本イーライリリー株式会社、バイオジェン・アイデック・ジャパン株式会社、ファイザー株式会社、ブリistol・マイヤーズ株式会社、ムンディファーマ株式会社、ヤンセンファーマ株式会社(五十音順)の 10 社です。

- PhRMA 東京オフィスホームページ <http://www.phrma-jp.org>
- PhRMA ホームページ <http://www.phrma.org>

【本件に関するお問い合わせ】

米国研究製薬工業協会(PhRMA)広報事務局
(株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)

TEL:03-3291-0118

FAX:03-3291-0223

E-mail: phrma_pr@jc-inc.co.jp

担当:村田/細川/青木

〒101-0065 東京都千代田区西神田1-3-6 ウエタケビル4F